

「お疲れさまでした」

# 木内前市長退任

平成14年9月に市長就任以来、4年間の任期を終えた木内正勝前市長は9月14日、思い出の詰まった市役所を後にしました。任期中木内前市長は、「親切」をキーワードとした市政を展開。市民そして市外からのお客様を温かく迎える市役所・飯山市づくりに取り組みました。また北陸新幹線建設に伴う飯山駅周辺整備、信越トレイルの運用開始や森林セラピー基地認定など、飯山の自然を活用した「旅産業」にも取り組み大きな成果を残されました。新幹線が開業する8年後、これらが相乗効果を生み出し、描かれた夢が現実となる日がやってくるのではないのでしょうか。



退任あいさつ  
前 飯山市長  
木内 正勝

平成10年に助役、そして14年から市長に就任いたし、あつという間に過ぎた8年間でありました。このたび無事退任することができました。この間、市民、議会、職員、それぞれの皆様からお寄せいただいた温かいご支援、ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

小山前市長からの引継ぎで、北陸新幹線飯山駅周辺整備、合併問題、ゴミ焼却場問題の3つが大きな課題として上げられました。いずれも100年、50年、25年に一度という大きな取り組みであり、身の引き締まる思いであります。

北陸新幹線駅周辺整備につきましては、地元地権者会議との一体的な取り組みを行ってきた結果、土地区画整理方式を進めることが決定され今年度から具体的な換地計画に入ることとなっております。また、飯山線飯山駅の移転統合も実現する運びとなっており、現飯山駅跡に上倉方面から新しい道路が建設され街の東西を結ぶ交通整備が図られることとなりました。

開業を待ち望んでおります。次は岳北の合併推進につきましては大変残念な結果となりました。市民の9割近くの方が合併促進賛成という中で私も一生懸命取り組みを進めて参りました。しかしながら、木島平村、野沢温泉村が相次いで住民投票において合併離脱という結果となつてしまいました。同じ雪国で文化、経済も一体というこの岳北地域が行政的に一緒になるということは非常に意義の深いものがあると思っております。ただだけに、誠に残念でありました。市民の多くの期待を裏切つてしまい、相手のある話とはいえ申し訳なく思っております。



△退任式では行政委員、職員を前に最後のあいさつを行った



△昨年7月に運用開始となった信越トレイルもすっかり定着した

宝が、どんな時代でも生き抜く力になると考えており、親切な市民が迎え、日本のふるさと原風景を残す飯山市をゆつくり歩き、心を癒し健康になつていただくことが私達ができる人間本来の姿ではないでしょうか。関田山脈上に50キロメートルの信越トレッキングルートが昨年開通し、この春には全国6か所の一つとして森林セラピー基地に飯山市が認定され取り組みを開始しております。豊かな田園風景と里山の森林資源として親切あふれる人情を活かした旅産業としての受け入れ体制づくりを一層強めていって欲しいと念願しております。

ただき厚く御礼申し上げます。以上、特に印象深かつた事業について述べてきましたが、この他数多くの事業が市民の皆様のご協力を得て実施することができました。このたび、任期中中に左耳が突発性難聴となつてしまい、市長任務の続行は難しいとの判断から、一期で退任を決心した次第であります。今後私も、二市民として市政発展のために少しでもお役に立つことができればと願っております。

最後に、改めて今までお寄せいただいたご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。飯山市の一層のご発展を、市民の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。退任の挨拶といたします。

「市民相談室」をご利用ください  
1室増えて更に安心  
市役所では、市民の皆さんが困っていることなどを、誰かに聞かれない相談でも気軽に相談できるように、市民相談室を設けていますが、10月より更に1室増やし3室となりました。健康のこと、子育てのこと、家族のことなど、身の回りでお困りのことがありましたら、お気軽に市役所へご相談ください。市役所では守られます。